



コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド hpワークステーションxw4000 hpワークステーションxw6000

製品番号 : 301199-291

2002年10月

このガイドでは、コンピュータ セットアップの使用方法について説明します。このツールは、新しいハードウェアを取り付けたときにコンピュータのデフォルト設定を再構成および変更する場合や、メンテナンスの目的で使用します。

© 2002 Hewlett-Packard Company
© 2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXは、米国The Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド
hpワークステーションxw4000
hpワークステーションxw6000
初版 2002年10月
製品番号：301199-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ	1
コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動	3
ファイル (File)	5
システム情報 (System Information)	5
バージョン情報 (About)	5
日付と時刻 (Set Time and Date)	5
ディスクケットに保存 (Save to Diskette)	5
システム構成の復元 (Restore from Diskette)	5
デフォルト値に設定して終了 (Set Defaults and Exit)	5
変更を保存しないで終了 (Ignore Changes and Exit)	5
変更を保存して終了 (Save Changes and Exit)	5
ストレージ (Storage)	6
デバイス構成 (Device Configuration)	6
ストレージ オプション (Storage Options)	8
IDE (ATA) DPSセルフテスト (IDE (ATA) DPS Self-Test)	8
コントローラ順序 (Controller Order)	9
Narrow SCSIターミネーション (Narrow SCSI Termination)	9
起動順序 (Boot Order)	9
セキュリティ (Security)	10
セットアップ パスワード (Setup Password)	10
電源投入時パスワード (Power-On Password)	10
パスワード オプション (Password Options)	10
スマート カバー (Smart Cover)	10
スマート センサ (Smart Sensor)	11
ドライブ ロック (DriveLock)	11
マスタ ブート レコード セキュリティ (Master Boot Record Security)	12
マスタ ブート レコードの保存 (Save Master Boot Record)	12
マスタ ブート レコードの復元 (Restore Master Boot Record)	12
デバイス セキュリティ (Device Security)	13
ネットワーク サービス ブート (Network Service Boot)	13
システムID (System IDs)	13
電源 (Power)	14
省電力 (Energy Saver)	14
タイムアウト (Timeouts)	14
省電力オプション (Energy Saver Options)	14

カスタム* (Advanced)	15
電源投入時オプション (Power-On Options)	15
オンボード デバイス (Onboard Devices)	18
PCIデバイス (PCI Devices)	18
バス オプション (Bus Options)	18
デバイス オプション (Device Options)	19
PCI VGA コンフィグレーション (PCI VGA Configuration)	20
A 構成の設定値の回復	
方法1: フラッシュ ROM CMOSの保管/復元機能: 電源スイッチ オーバーライドの使用	A-1
方法2: [ディスクットに保存] (Save to Diskette) および[システム構成の復元] (Restore from Diskette)	A-2

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ

次のような場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを実行してください。

- コンピュータの工場出荷時の設定を変更する場合。
- コンピュータ (リアルタイム クロック) に日付 (Date) と時刻 (Time) を設定する場合。
- プロセッサ、グラフィックス (ビデオ)、メモリ、オーディオ、記憶装置、通信ポート、入力装置などの情報を参照したり、設定を変更したりする場合。
- 起動可能 (ブータブル) ドライブの起動順序 (Boot Order) の設定を変更する場合。起動可能ドライブとして、ハードディスク ドライブ、ディスクレット ドライブ、オプティカル ドライブ、LS-120ドライブなどがあります。
- IDE (ATA) ハードディスク ドライブとSCSIハードディスク ドライブの起動時の優先順位を設定する場合。
- 低騒音ドライブ (Quiet Drive) オプションを設定する場合。
- クイック ブート (QuickBoot) とフルブート (FullBoot) の設定を変更する場合。クイック ブートでは、自己診断テストが省略されるので、コンピュータをすばやく起動することができます。以下のように設定することができます。
 - ☐ 常にクイック ブート (デフォルト)
 - ☐ フル ブートを実行する間隔 (毎日~30日まで指定可)
 - ☐ 常にフル ブート

- ネットワーク サーバ モード (Network Server Mode) を設定する場合。ネットワーク サーバ モードでは、キーボードやマウスが接続されていても、接続されていなくても、電源投入時パスワード (Power-On Password) が有効である時にコンピュータのオペレーティング システムが起動されます。電源投入時パスワードを入力するまでは、システムに接続されているキーボードやマウスはロックされたままです。
- POST (Power-On Self Test) メッセージ (POST Message) の無効 (Disable) / 有効 (Enable) の設定を変更する場合。非表示モードでは、メモリ カウント、製品名、エラーでないテキスト メッセージなどは表示されません。POSTエラーが発生した場合には、無効/有効の設定に関係なくエラーメッセージが表示されます。POST実行中に非表示モードから表示モードに切り替えるには、[F1]～[F12]キー以外のキーを押してください。
- オーナシップ タグ (Ownership Tag) を設定する場合。オーナシップ タグを設定しておく、と、コンピュータの起動時にコンピュータの所有者に関する情報が画面上に表示されます。
- 会社によって割り当てられたアセット タグ (Asset Tag) または資産ID番号を設定する場合。
- 電源投入時パスワード (Power-On Password) を設定する場合。また、コンピュータの再起動時 (ウォーム ブート時) にも電源投入時パスワードの入力が必要のように設定を変更する場合。
- コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティにアクセスできるようにセットアップ パスワード (Setup Password) を設定する場合。設定方法は、この付録の中で説明します。
- シリアル ポート、USBポート、パラレル ポート、オーディオ、内蔵NICなどの内蔵I/O機能の使用禁止/許可を設定する場合。
- マスタ ブート レコード (MBR) セキュリティ (Master Boot Record Security) を設定する場合。
- リムーバブル メディアからの起動 (Removable Media Boot) の禁止/許可を設定する場合。
- リムーバブル メディアへの書き込み (Removable Media Write) の禁止/許可を設定する場合 (ハードウェアでサポートされている場合)。
- Power-On Self-Test (POST) で検出されたが、自動修復できなかったコンフィギュレーション エラーを解決する場合。

- リプリケート セットアップ機能を利用する場合。コンピュータの設定情報をディスクに保存したり、その情報を使って複数のコンピュータを同じ設定にすることができます。
- 特定のIDE (ATA) ハードディスク ドライブのセルフテストを実行する場合 (ドライブでサポートされている場合)。
- 省電力機能を設定する場合。省電力モード、システムおよびハードディスク ドライブのタイムアウト、電源ボタンのモード、ならびに電源ランブの動作など、様々な機能を設定することができます。
- ドライブロック セキュリティ (DriveLock Security) の有効/無効を設定する場合 (マルチベイ ドライブでサポートされている場合)。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの起動

コンピュータ セットアップは、起動処理の開始時 (再起動の開始時または電源投入時) にのみアクセスできます。コンピュータ セットアップ ユーティリティを起動するには、次の手順に従います。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。Windows をお使いの場合、[スタート]→[終了オプション] (または[シャットダウン]) →[コンピュータを再起動する] (または[再起動する]) の順に選択します。
2. コンパックのロゴ画面の右下に [F10=Setup] と表示されたら、すぐに[F10]キーを押します。



画面右下に[F10=Setup]と表示されている間に[F10]キーを押せなかったときは、コンピュータを再起動して操作をやりなおしてください。


3. 使用言語をリストから選択し、[ENTER]キーを押します。
4. [コンピュータ セットアップ ユーティリティ]のメイン画面から5つのメニュー ([ファイル] (File)、[ストレージ] (Storage)、[セキュリティ] (Security)、[電源] (Power)、[カスタム] (Advanced)) が選択できます。
5. 左右矢印キーでメニューを選択し、上下の矢印キーで項目を選んで[Enter]キーを押します。コンピュータ セットアップ ユーティリティのメニューに戻るには、[ESC]キーを押します。

6. 変更した設定を有効にするには、[ファイル] (File) → [変更を保存して終了] (Save Changes and Exit) の順に選択します。
 - ☐ 変更した設定を破棄したい場合は、[変更を保存しないで終了] (Ignore Changes and Exit) を選択します。
 - ☐ 工場出荷時の設定値にリセットする場合は、[デフォルト値に設定して終了] (Set Defaults and Exit) を選択します。




注意: CMOSの損傷を防ぐため、コンピュータセットアップでの変更がROMに保存されている最中に、コンピュータの電源を切らないでください。
[F10=Setup]画面が終了したら、コンピュータの電源を切ることができます。


コンピュータ セットアップ ユーティリティ

メニュー	項目	説明
ファイル (File)	システム情報 (System Information)	次の項目を表示します <ul style="list-style-type: none"> 製品名 (Product Name) プロセッサ タイプ/速度/ステッピング (Processor Type/Speed/Stepping) キャッシュ サイズ (Cache Size) (L1/L2) メモリ サイズ (Memory Size) システムROM (System ROM) (システム ファミリの名前とバージョン) 本体シリアル番号 (Chassis Serial Number) アセット タグ (Asset Tracking Number) 内蔵の有効なNIC用の内蔵MAC (Integrated MAC) (必要に応じて)
	バージョン情報 (About)	著作権情報を表示します
	日付と時刻 (Set Time and Date)	システムの時刻と日付を設定します
	ディスクットに保存 (Save to Diskette)	フォーマットされた1.44MB ディスクットのCPQsetup.txt ファイルに、CMOSを含めたコンピュータの設定情報を保存します。Disk on Keyの保存/復元がサポートされています
	システム構成の復元 (Restore from Diskette)	ディスクットに保存されているシステム構成を復元します。Disk on Keyの保存/復元がサポートされています
	デフォルト値に設定して 終了 (Set Defaults and Exit)	工場出荷時の設定値に戻します。すべてのパスワード設定も消えます
	変更を保存しないで終了 (Ignore Changes and Exit)	変更した設定値を破棄し、コンピュータ セットアップ ユーティリティを終了します
	変更を保存して終了 (Save Changes and Exit)	変更した設定値を保存し、コンピュータ セットアップ ユーティリティを終了します
 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。		

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明	
ストレージ (Storage)	デバイス構成 (Device Configuration)	取り付けられているSCSI以外のすべてのストレージ デバイスを表示します	
		 SCSIストレージ デバイスは、コンピュータ セットアップでは表示されません	
		デバイスを選択すると、そのデバイスに関する詳細情報およびオプションが表示されます。次のような項目が表示されます	
		<hr/>	
		ディスクタイプ (Diskette Type) (低速ディスク ドライブのみ)	
		ディスク ドライブで使用可能な最大容量のメディアのタイプを示します	
		レガシー ディスク ドライブ (Legacy Diskette Drives)	
		オプションには、3.5インチ1.44MB、5.25インチ1.2MB、および「ドライブなし」(Not Installed) があります	
		Disk on Keyの保存/復元がサポートされています	
		<hr/>	
ドライブ エミュレーション (Drive Emulation)			
特定のストレージ デバイスのドライブ エミュレーションタイプを選択します (たとえば、Zip ドライブは、ディスク エミュレーションを選択することで起動可能になります)			
ドライブのタイプ エミュレーション オプション			
ATAPI Zip ドライブ (ATAPI Zip drive)	なし (None) (その他の各種ドライブとして処理)		
	ディスク (Diskette) (ディスクドライブとして処理)		
	ディスク (Disk) (ハードディスク ドライブとして処理)		
IDE (ATA) ハードディスク (IDE (ATA) Hard Disk)	なし		
レガシー ディスク (Legacy Diskette)	なし		
IDE (ATA) CD-ROM	なし		
ATAPI LS-120	なし		
<hr/>			
 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。			






コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
ストレージ (Storage) (続き)	デバイス構成 (Device Configuration) (続き)	<p>転送モード (Transfer Mode) (IDE/ATAデバイスのみ) アクティブなデータ転送モードを指定します。オプションには (デバイスの機能により)、PIO 0、Max PIO、Enhanced DMA、Ultra DMA 0、およびMax UDMAがあります</p> <p>変換モード (Translation Mode) (IDE/ATA ディスクのみ) デバイスで使用する変換モードを選択します。これにより BIOS は、他のシステム上のパーティション分割およびフォーマットされたディスクにアクセスできます。これは、旧バージョンのUNIX (SCO UNIXバージョン3.2など) のユーザにとって必要な場合があります。オプションには、ビットシフト (Bit-Shift)、LBA支援 (LBA Assisted)、ユーザ (User)、および「なし」(None) があります</p> <p> 注意: 通常は、BIOSによって自動的に選択された変換モードは変更しないでください。選択された変換モードが、ディスクをパーティション分割およびフォーマットしたときにアクティブであった変換モードと互換性がないと、ディスク上のデータにアクセスできなくなります</p> <p>変換パラメータ (Translation Parameter) (IDE/ATAディスクのみ) パラメータ (論理シリンダ (Logical Cylinders)、ヘッド (Heads)、およびトラック当たりのセクタ数 (Sectors Per Track) を指定します。BIOSはこれを使用して (オペレーティングシステムやアプリケーションからの) ディスクI/O要求を、ハードディスク ドライブで受け入れ可能な様式に変換します。論理シリンダは1024を超えることはできません。ヘッド数は256を超えることはできません。トラック当たりのセクタ数は63を超えることはできません。これらのフィールドは、ドライブの変換モードが「ユーザ」に設定されているときにのみ、表示および変更できます</p> <p>マルチセクタ転送 (Multisector Transfers) (IDE/ATAデバイスのみ) マルチセクタのPIO 操作ごとに転送されるセクタ数を指定します。オプションには (デバイスの機能により)、無効 (Disabled)、8、および16があります</p>






コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。






コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
ストレージ (Storage) (続き)	デバイス構成 (Device Configuration) (続き)	<p>低騒音ドライブ (Quiet Drive)</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大性能 (Performance) ドライブは、最大性能で動作します 低騒音 (Quiet) 動作中のドライブの騒音を低減します。低騒音に設定するとドライブは最大性能では動作しなくなります
	ストレージ オプション (Storage Options)	<p>リムーバブル メディア起動 (Removable Media Boot) リムーバブル メディアからシステムを起動する機能の有効 (Enable) /無効 (Disable) を設定します</p> <p>リムーバブル メディア書き込み (Removable Media Write) リムーバブル メディアにデータを書き込む機能の有効 (Enable) /無効 (Disable) を設定します</p> <p> この機能は、レガシー ディスケット、IDE (ATA) LS-120 スーパーディスク、およびIDE (ATA) PDオプティカルドライブにのみ適用されます</p> <p> リムーバブル メディア起動の変更を行った後で、コンピュータは再起動しますが、手でコンピュータの電源を切ってから電源を入れてください</p>
		<p>プライマリIDE (ATA) コントローラ (Primary IDE Controller) プライマリIDE (ATA) コントローラを有効 (Enable) /無効 (Disable) に設定します</p>
		<p>セカンダリIDE (ATA) コントローラ (Secondary IDE Controller) セカンダリIDE (ATA) コントローラを有効 (Enable) /無効 (Disable) に設定します</p>
		<p>ディスケットMBR検証 (Diskette MBR Validation) ディスケットのマスタ ブート レコード (MBR) の厳密な検証を有効 (Enable) /無効 (Disable) に設定します</p> <p> ディスケットMBR検証を有効にすると、ディスケットを使用できないことがあります。適正であることが分かっている起動可能ディスケットのイメージが起動しない場合、この項目を無効にします</p>
	IDE (ATA) DPS セルフテスト (IDE (ATA) DPS Self-Test)	<p>DPS (Drive Protection System) セルフテスト機能をもつIDE (ATA) ハードディスク ドライブのセルフテストの実行</p> <p> この項目は、1台以上のIDE (ATA) DPSセルフテスト機能を持つハードディスク ドライブがシステムに接続されている場合にのみ表示されます</p>
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		




コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
ストレージ (Storage) (続き)	コントローラ順序 (Controller Order) (一部のモデルでのみサ ポート)	<p>搭載されているハードディスク ドライブのコントローラの順序を指定します。該当するデバイスが存在する場合、この順番の最初の位置に指定されているハードディスク ドライブ コントローラが、起動順序 (Boot Order) で最優先され、Cドライブとして認識されます</p> <p> この項目は、すべてのハードディスク ドライブが内蔵IDE (ATA) コントローラに接続されている場合には表示されません</p>
	Narrow SCSI ターミネーション (Narrow SCSI Termination) (一部のモデルでのみサ ポート)	Narrow SCSI ドライブを使用している場合に、外部 SCSI コネクタのターミネーションを設定します。この機能は、Narrow SCSI ドライブで外部 SCSI チャンネルを終端する場合にのみ有効にしてください
	起動順序 (Boot Order)	<p>接続された周辺装置 (ディスク ドライブ、ハードディスク ドライブ、光学ドライブ、またはネットワーク インタフェース カードなど) に起動可能なオペレーティング システムのイメージがあるかどうかをチェックする順序を指定します。リスト上の各デバイスは、起動可能オペレーティング システムのソースとして個別にチェック対象から除外したり、チェック対象に含めたりできます</p> <p> MS-DOS のドライブ名の割り当ては、MS-DOS 以外のオペレーティング システムが起動された後は、適用されない場合があります</p> <p>一時的に優先される起動順序へのショートカット</p> <p>起動順序で指定したデフォルトのデバイス以外のデバイスから一度だけ起動するには、コンピュータを再起動し、画面に[F10=Setup]と表示されている間に[F9]キーを押します。POSTが完了すると、起動可能デバイスのリストが表示されます。矢印キーを使用して目的の起動デバイスを選択し、[Enter]キーを押すと、デフォルト以外の選択したデバイスから、コンピュータが一度だけ起動されます</p>
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		






コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
セキュリティ (Security)	セットアップ パスワード (Setup Password)	<p>セットアップ パスワード (アドミニストレータ) を設定</p> <p> セットアップ パスワードを設定すると、コンピュータ セットアップ ユーティリティの設定を変更したり、ROM をフラッシュしたり、Windows環境で特定のプラグ アンド プレイ設定を変更したりする場合にセットアップ パスワードが必要になります</p> <p>詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください</p>
	電源投入時パスワード (Power-On Password)	<p>電源投入時パスワードの設定。詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください</p>
	パスワード オプション (Password Options) (電源投入時パスワードが 設定されている場合にのみ 表示されます)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク サーバ モード (Network Server Mode) の有効 (Enable) /無効 (Disable) の設定 <p> 電源投入時パスワードを設定している時のみこれらの設定が表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーム ブート ([Ctrl]+[Alt]+[Delete]) にパスワードが必要かどうかの指定 <p> この項目は、ネットワーク サーバ モードが無効のときのみ使用できます</p> <p>詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。</p>
	スマート カバー (Smart Cover)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> カバー ロック (Smart Cover Lock) のロック (Lock) /アンロック (Unlock) の設定 <p> ユーザに通知 (Notify User) は、カバーが取り外されたことをセンサが検知したときにユーザに通知します セットアップ パスワード (Setup Password) は、カバーが取り外されたことをセンサが検知した場合、コンピュータを起動する際にセットアップ パスワードの入力を要求します</p> <p>一部のモデルのみサポート。詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください</p>
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		


コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
セキュリティ (Security) (続き)	スマート センサ (Smart Sensor)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート センサ (Smart Sensor) を有効 (Enable) /無効 (Disable) に設定します <p> ユーザに通知 (Notify User) は、カバーが取り外されたことをセンサが検知したときにユーザに通知します セットアップ パスワード (Setup Password) は、カバーが取り外されたことをセンサが検知した場合、コンピュータを起動する際にセットアップ パスワードの入力を要求します</p> <p>一部のモデルのみサポート。詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください</p>
	ドライブ ロック (DriveLock)	<p>一部のIDE (ATA) ハードディスク ドライブ (SCSIハードディスク ドライブではサポートされません) にマスタ パスワードまたはユーザ パスワードを割り当てたり、パスワードを変更したりします。この機能が有効の場合は、POST実行中にどちらかのDriveLockパスワードを入力するための画面が表示されます。パスワードが正常に入力されなかった場合は、次のコールド ブート シーケンスの間にどちらかのパスワードが入力されるまで、ハードディスク ドライブにはアクセスできません</p> <p> この項目は、DriveLock 機能をサポートする 1 台以上のハードディスク ドライブがシステムに接続されている場合にのみ表示されます</p> <p>一部のモデルのみサポート。詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください</p>
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		





コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
セキュリティ (Security) (続き)	マスタ ブート レコード セキュリティ (Master Boot Record Security)	<p>マスタ ブート レコード (MBR) セキュリティを有効 (Enable) /無効 (Disable) に設定します</p> <p>有効に設定すると、BIOSは、現在の起動可能ディスクの MBR への書き込み要求をすべて拒否します。コンピュータの電源を入れるか再起動するたびに、BIOSは現在の起動可能ディスクの MBRと前回保存した MBRとを比較します。変更が検出された場合、現在の起動可能ディスクの MBRを保存するか、前回保存した MBRを復元するか、または MBR セキュリティを無効にすることができます。セットアップ パスワードが設定されている場合は、セットアップ パスワードを入力する必要があります</p> <p> 現在の起動可能ディスクのフォーマットやパーティションを意図的に変更する際は、MBRセキュリティを無効に設定します。一部のディスク ユーティリティ (FDISK や FORMAT など) は MBR を更新しようとしています。MBR セキュリティが有効に設定されたまま BIOSによってディスク アクセスの処理が行われると、MBR への書き込み要求は拒否され、ユーティリティはエラーを表示します。また MBR セキュリティが有効に設定されたままオペレーティング システムによってディスク アクセスの処理が行われると、次の再起動時に BIOSによって MBRの変更が検出され、MBRセキュリティの警告メッセージが表示されます</p>
	マスタ ブート レコードの 保存 (Save Master Boot Record)	<p>現在の起動可能ディスクのマスタ ブート レコードのバックアップ コピーを保存します</p> <p> MBRセキュリティが有効の場合にのみ表示されます</p>
	マスタ ブート レコードの 復元 (Restore Master Boot Record)	<p>マスタ ブート レコードのバックアップを現在の起動可能ディスクに復元します</p> <p> 次の条件がすべて満たされている場合にのみ表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> • MBRセキュリティが有効に設定されている • 以前に MBRのバックアップ コピーが保存されている • 現在の起動可能ディスクが、MBRのバックアップ コピーを保存したときのディスクと同じである <p> 注意：通常は、ディスク ユーティリティやオペレーティング システムが変更された後に、以前保存しておいた MRBバックアップを復元すると、ディスク上のデータにアクセスできなくなる可能性があります。現在の起動可能ディスクの MRBが壊れているかウイルスに感染していると確信が持てる場合にのみ、バックアップ コピーを復元してください</p>
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
セキュリティ (Security) (続き)	デバイス セキュリティ (Device Security)	シリアル ポート (Serial Port) A と B、パラレル ポート (Parallel Port)、USB ポート (USB Port)、システムのオーディオ セキュリティ (Audio Security)、モデルによってはネットワーク コントローラ (Network Controller)、および SCSI コントローラ (SCSI Controller) のデバイス有効 (Enable) / デバイス無効 (Disable) の設定
	ネットワーク サービス ブート (Network Service Boot)	ネットワーク サーバにインストールされたオペレーティング システムからコンピュータを起動する機能の有効 (Enable) / 無効 (Disable) の設定 (NIC モデルのみで使用でき、ネットワーク コントローラが PCI バス上に存在するか、システム ボードに組み込まれている必要があります)
	システム ID (System IDs)	次の項目を設定します <ul style="list-style-type: none"> • アセット タグ (16 バイトの ID) の入力 (Asset Tag) およびオーナーシップ タグ (POST 実行中に表示される 80 バイトの ID) の入力 (Ownership Tag) 詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください • 本体シリアル番号 (Chassis Serial Number) または UUID (Universal Unique Identifier) 入力 (UUID) 現在の番号が無効の場合に設定 (通常これらの識別 (ID) 番号は工場出荷時に設定され、そのシステムを特定するために使用されます) • キーボード (Keyboard Locate) の設定 英語用やドイツ語用などをシステム ID エントリに対して設定します
 コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。		

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
電源 (Power)	省電力 (Energy Saver)	<p>省電力モード (Energy Saver Mode) をカスタム (Advanced)、無効 (Disable)、最小 (Minimal) に設定</p> <p> 省電力モードを最小 (Minimal) に設定すると、ハードディスク ドライブとシステムは省電力モードにはなりません。ただし、電源ボタンを押すとシステムはサスペンド状態になります</p> <p>このオプションはACPI対応オペレーティング システム (Windows 98、Windows 2000、Windows Me、および Windows XP) の省電力機能には影響を与えません</p>
	タイムアウト (Timeouts)	<p>システムとすべての取り付けられているIDE (ATA) ハードディスク ドライブについて、タイムアウトを有効 (Enable) / 無効 (Disable) に設定して、タイムアウト値を選択するか無効にできます</p> <p> このオプションは ACPI 対応オペレーティング システムの省電力機能には影響を与えません。省電力モードがカスタムに設定されている場合のみ、この項目が表示されます</p>
	省電力オプション (Energy Saver Options)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> APM対応オペレーティング システム (Windows NT) で の電源ボタン (Power Button) のオン (On) /オフ (Off) またはスリープ (Sleep) /ウェイクアップ (Wakeup) スタンバイ中電源LEDの点滅 (Power LED Blinks During Standby) の有効 (Enable) /無効 (Disable)。このオプションはACPI対応オペレーティング システムの省電力機能には影響を与えません <p> このオプションは、省電力モード (Energy Saver Mode) が有効な場合にのみ表示されます。また、ACPIが有効にされたオペレーティング システムでは適用されません</p>
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム * (Advanced) *上級ユーザのみ	電源投入時オプション (Power-On Options)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> POSTモード (POST Mode) の設定 : クイック ブート (QuickBoot)、フル ブート (FullBoot)、または1~30日毎にフルブート (FullBoot Every 1-30 Days) POSTメッセージ (POST Messages) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) 安全POST (Safe POST) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、起動中にROMにアドインカードを監視させることができます。アドインカードが正常に動作しない、あるいは初期化されない場合、すべてのカードは次の起動時のPOST実行中に無視されます (この機能は一部のモデルでのみサポートされます) [F9] プロンプト (F9 Prompt) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、POST実行中に[F9=Boot Menu]と表示されます。この機能を無効に設定してテキストが非表示になっても、[F9] キーを押すと [Shortcut Boot [Order] Menu]画面が表示されます [F10] プロンプト (F10 Prompt) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、POST実行中に[F10=Setup]と表示されます。この機能を無効に設定してテキストが非表示になっても、[F10] キーを押すと [Setup]画面が表示されます [F12] プロンプト (F12 Prompt) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、POST実行中に[F12=Network Service Boot]と表示されます。この機能を無効に設定してテキストが非表示になっても、[F12] キーを押すとネットワークからのブートがシステムに強制されます



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム* (Advanced) (続き) *上級ユーザのみ	電源投入時オプション (Power-On Options) (続き)	<ul style="list-style-type: none"> オプションROMプロンプト (Option ROM Prompt) の有効 (Enable) /無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、オプションROMをロードする前に画面にメッセージが表示されます (この機能は一部のモデルでのみサポートされます) リモート ウェイクアップ ブート ソース (Remote Wakeup Boot Source) のリモート サーバ (Remote Server) /ローカルハードディスク ドライブ (Local Hard Drive) UUID の有効 (Enable) /無効 (Disable) HPの各コンピュータにはシリアル番号、製造日時などの固有のIDがあります。この機能を有効に設定すると、ドライバ、ネットワークなどのソフトウェアでコンピュータのIDを読み取ることができるようになります POST 遅延時間 (秒単位) (POST Delay (in seconds)) の設定 この機能を有効に設定すると、ユーザが指定した遅延時間がPOST プロセスに追加されます。この遅延時間は、POSTが完了した時点でブートの準備ができていないほどPCIカード上のハードディスクの回転が遅い場合に必要となります。POST遅延時間を設定すると、コンピュータ (F10) セットアップを開くために[F10]キーを選択する時間が長くなります



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム* (Advanced) (続き) *上級ユーザのみ	電源投入時オプション (Power-On Options) (続き)	<ul style="list-style-type: none"> 電源の切断後 (After Power Loss) のオン (On) / オフ (Off) 電源切断後、コンピュータ本体の電源スイッチではなく、スイッチ付き電源タップのスイッチなどを使用してコンピュータの電源を入れたい場合は、このオプションをOnに設定します  電源タップのスイッチを使ってコンピュータの電源を切る場合は、サスペンド/スリープ機能またはリモート マネジメント機能を使用できません I/O APIC モード (I/O APIC Mode) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、Microsoft Windows オペレーティング システムの動作が最適化されます。Microsoft 以外の一部のオペレーティング システムを正常に動作させるためには、この機能を無効に設定する必要があります メモリの先頭の USB バッファ (USB Buffer @ Top of Memory) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、USB メモリ バッファがメモリの先頭に配置されます。この機能の利点は、1MB 未満の一定量のメモリがオプションROMによって解放されて使用できる点です。不利な点は、USB バッファがメモリの先頭にありシステムのRAMが64MB以下の場合、一般的なメモリ マネージャであるHIMEM.SYSが正常に動作しない点です ホットプラグ対応マルチベイ用ディスク ドライブ (Hot-Pluggable MB Floppy) の有効 (Enable) / 無効 (Disable) この機能を有効に設定すると、Windows 2000 または Windows XP を実行しているシステムに対してマルチベイ用ディスク ドライブのホットプラグが可能になります。この機能は他のオペレーティング システムでは効果がありません (この機能は一部のモデルでのみサポートされます)
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。	



コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム* (Advanced) (続き) *上級ユーザのみ	オンボード デバイス (Onboard Devices)	オンボード システム デバイス (ディスク コントローラ (Diskette Controller)、シリアル ポート (Serial Port)、パラレル ポート (Parallel Port)) 等のリソースおよび無効 (Disable) の設定
	PCI デバイス (PCI Devices)	<ul style="list-style-type: none"> インストールされているPCIデバイスとIRQの設定の表示 各デバイスの IRQ 設定を変更したり、デバイスを無効 (Disable) に設定 これらの設定は、ACPI対応のオペレーティング システムには対応していません
	バス オプション (Bus Options)	一部のモデルで、次の項目の有効 (Enable) /無効 (Disable) を設定します <ul style="list-style-type: none"> PCIバス マスタ (PCI Bus Mastering) PCIデバイスがPCIバスの制御を実行 PCI VGAパレット スヌーピング (PCI VGA Palette Snooping) PCIコンフィギュレーション スペースにVGAパレット スヌーピング ビットを設定 2つ以上のグラフィックス コントローラがインストールされている場合に必要 PCI SERR#生成 (PCI SERR# Generation) ECCサポート (ECC Support) ECC対応メモリでのハードウェア ベースのエラー訂正を実行



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム* (Advanced) (続き) *上級ユーザのみ	デバイス オプション (Device Options)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタ モード (Printer Mode) の双方向 (Bi-directional)、EPP+ECP (EPP & ECP)、出力専用 (Output Only) 電源投入時Num Lock状態 (Num Lock state at Power-On) のオン (On) /オフ (Off) 電源管理イベント (PME) PME ウェイクアップ イベント (Wakeup Events) の有効 (Enable) /無効 (Disable) プロセッサ キャッシュ (Processor Cache) の有効 (Enable) /無効 (Disable) ACPI S3のサポート (ACPI S3 Support) の有効 (Enable) /無効 (Disable) S3は、ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) のスリープ状態であり、一部のアドイン ハードウェア オプションではサポートされない場合があります <p> ACPI S3は一部のモデルでのみサポートされます。ACPI S3サポート オプションが表示されない場合は、その他の ACPI S3オプション (ACPI S3ビデオ再POST、ACPI S3 ハードディスクのリセット、およびACPI S3 PS2マウス ウェイクアップ) は使用できません</p> <ul style="list-style-type: none"> ACPI S3ビデオ再POST (ACPI S3 Video REPOST) の有効 (Enable) /無効 (Disable) S3スリープ状態からの復帰時にビデオ オプション ROMを元に戻します (一部のモデルのみ)
<p> コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。</p>		

コンピュータ セットアップ ユーティリティ (続き)

メニュー	項目	説明
カスタム* (Advanced) (続き) *上級ユーザのみ	デバイス オプション (Device Options) (続き)	<p>次の項目を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> ACPI S3ハードディスクのリセット (ACPI S3 Hard Disk Reset) の有効 (Enable) /無効 (Disable) S3スリープ状態からの復帰時にハードディスク ドライブをリセットします (一部のモデルのみ) ACPI S3 PS2マウス ウェーク アップ (ACPI S3 PS2 Mouse Wake Up) の有効 (Enable) /無効 (Disable) マウスを使用してS3スリープ状態から復帰できるように設定します (一部のモデルのみ) AGP ビデオ フレーム バッファ サイズ (AGP Aperture size) (オプションはプラットフォームによって異なります) AGP ビデオ フレーム バッファ サイズ ウィンドウのサイズを変更します モニタ トラッキング (Monitor Tracking) の有効 (Enable) /無効 (Disable) モニタのアセット情報をROMに保存
	PCI VGA コンフィグレーション (PCI VGA Configuration)	<p>PCI ビデオ アダプタがシステムにインストールされている場合のみ、表示されます。VGAコントローラのブートまたはプライマリVGA コントローラの設定を行います</p>



コンピュータ セットアップ ユーティリティでサポートされる特定の機能は、お使いのハードウェアの構成によって異なる場合があります。

構成の設定値の回復

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティで設定した構成の設定値は、2つの方法で回復できます。

方法1：フラッシュ ROM CMOSの保管/復元機能： 電源スイッチ オーバーライドの使用

[F10]キーを押して起動されるコンピュータ セットアップのCMOS構成の設定値は、非揮発性RAM (NVRAM) に格納されます。

コンピュータを起動するたびに、システムROMによってNVRAMのコピー (CMOS、電源投入時パスワード、およびその他のシステム変数を含む) がフラッシュ ROMに保存されます。システムが不安定になったときは、「電源ボタン オーバーライド」機能を使用して、最後に保存した正常なNVRAMのコピーを復元できます。以下の手順に従って、NVRAMを復元します。

1. コンピュータの電源が入っていない状態で、電源ボタンを押して離します。
2. 電源ボタンを押した直後 (POST実行中) に電源ボタンを押し続け (約4秒間)、コンピュータの電源を切ります。

次にコンピュータを起動すると、ROMによって「電源ボタン オーバーライド」イベントが検出され、NVRAMのバックアップ コピーが自動修復されます。



この機能を使用する場合、POST (Power-On Self-Test、電源投入時のセルフテスト) の実行中に電源を投入した直後に、電源ボタンを使用してコンピュータの電源を切断することはできません。また、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切断するまでは、ビデオディスプレイを有効にしておく必要があります。



注意: POSTの実行中に電源コードを抜くと、スプラッシュ スクリーン (POSTの実行中に表示されるロゴ画面) が正しく表示されなくなることがあります。スプラッシュ スクリーンを復元するには、ROMをフラッシュする必要があります。ただし、スプラッシュ スクリーンが正しく表示されない場合でも、コンピュータは正常に動作します。

方法2 : [ディスクットに保存] (Save to Diskette) および [システム構成の復元] (Restore from Diskette)

この方法で復元する場合、**[システム構成の復元]** (Restore from Diskette) を実行する前に、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの**[ディスクットに保存]** (Save to Diskette) コマンドを実行する必要があります。前の章の表にある、**[ファイル]** (File) メニューの**[ディスクットに保存]** (Save to Diskette) を参照してください。



コンピュータを構成したら、その構成をディスクットに保存し、将来使用できるようにディスクットを保管しておくことをお勧めします。

構成を復元するには、構成を保存したディスクットをディスクット ドライブに挿入し、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの**[システム構成の復元]** (Restore from Diskette) コマンドを実行します。前の章の表にある、**[ファイル]** (File) メニューの**[システム構成の復元]** (Restore from Diskette) を参照してください。